



Cisco MeetingPlace Web Conferencing リリース 5.3 リリース ノート

目次

- [イントロダクション \(p.1\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Web Conferencing のシステム要件 \(p.2\)](#)
- [Segmented Meeting Access の要件 \(p.6\)](#)
- [負荷分散機能の要件 \(p.7\)](#)
- [WebConnect の要件 \(p.8\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Web Conferencing のエンドユーザ要件 \(p.9\)](#)
- [Cisco MeetingPlace 製品の互換性 \(p.11\)](#)
- [リリース 5.3 へのアップグレード \(p.12\)](#)
- [新機能および変更された機能 \(p.12\)](#)
- [警告 \(p.14\)](#)
- [関連資料 \(p.14\)](#)

イントロダクション

この資料では、Cisco MeetingPlace Web Conferencing リリース 5.3 のシステム要件、新機能、およびリリース 4.3.0.246 以降の主な警告について説明します。



(注)

この資料では、Cisco MeetingPlace Web Conferencing リリース 5.3 を「リリース 5.3」と表記します。

リリース履歴

リリース	リリース日	概要
5.3.104	2004/11/05	フィーチャ リリース (インストール機能とアップグレード機能の強化、Macintosh アプリケーションの共有、ビデオ サポート、SSL 管理の強化、ミーティング コンソールの強化、およびシスコブランドへの変更など)。このリリースは米国英語のみをサポート
4.3.0.246	2004/04/27	環境、管理、およびインフラストラクチャの強化 (Microsoft Windows 2003 のサポート、システムレベルのチャット制御、およびポルトガル語とスペイン語 [ラテンアメリカ] のサポートなど)
4.3.0.100	2003/10/20	多言語サポート (日本語とフランス語)、システム要件の更新、マルチプロセッサ サーバ/パフォーマンス/アプリケーション共有機能の改善
4.3.0.63	2003/03/26	フィーチャ リリース (ホワイトボード機能、プレゼンテーション モードの改善、コメント付加、24 ビット カラー サポート、音声/Web の同期記録および再生機能、ミーティング ルームの更新など)
4.2.7.92	2002/05/17	フィーチャ リリース (WebConnect、スライド ショー モード、ポーリング機能、およびミーティング ルームの更新など)
4.2.5.53	2001/09/14	ユーザ インターフェイスの刷新
4.2.0.44	2001/05/21	Web ベースの共有機能の導入
4.1.3.42	2000/09/18	MSDE/SQL Server データベースの実装
4.0.0.10	1999/04/23	WebShare の採用

Cisco MeetingPlace Web Conferencing のシステム要件

リリース 5.3 を新規にインストールするには、Cisco MeetingPlace アプリケーション専用の Cisco Media Convergence Server (MCS) が必要です。ハードウェア構成は、使用するシステムの音声/Web 会議ユーザ ライセンス (ポート) 数によって異なります。



(注)

このリリースは米国英語のみをサポートしています。それ以外の OS を使用しているお客様は、サポートされている OS を使用して Cisco MeetingPlace Web Conferencing を再インストールする必要があります。

システム要件を参照する際には、次の点に注意してください。

- リリース 5.3 を Segmented Meeting Access 構成でインストールする (外部アクセスを可能にする) 場合には、「[Segmented Meeting Access の要件](#)」 (p.6) も参照する
- Cisco MeetingPlace Web Conferencing Load Balancing および WebConnect など、リリース 5.3 の機能を使用する場合には、別途構成を検討する必要があります。詳しくは、「[負荷分散機能の要件](#)」 (p.7) および「[WebConnect の要件](#)」 (p.8) を参照
- エンドユーザ要件については、「[Cisco MeetingPlace Web Conferencing のエンドユーザ要件](#)」 (p.9) を参照する
- リリース 4.3.0.xx からリリース 5.3 へのアップグレードについては、「[リリース 5.3 へのアップグレード](#)」 (p.12) を参照する



(注) Terminal Service を使用したリリース 5.3 のインストールおよびリリース 5.3 へのアップグレードはサポートされていません。

表 1 CiscoMeetingPlace Web Conferencing のシステム要件

コンポーネント	要件
Web 会議サーバ	<p>ハードウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Media Convergence Server (MCS)、HP または IBM が提供する同等製品で Cisco MeetingPlace アプリケーション対応のもの。必要な MCS の数は、使用する Cisco MeetingPlace システムの音声 /Web 会議ユーザ ライセンス (ポート) 数によって異なる <p>(注) MCS の詳細については、下記 URL を参照 http://www.cisco.com/jp/product/hs/iptel/mcs/</p> <p>Cisco MCS 7835H-3.0-IPC1 または 7835I-3.0-IPC1</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声ユーザ ライセンス数が 480 以下のシステム向け - 最大 50 の Web 会議ユーザ ライセンスをサポート <p>Cisco MCS 7845H-3.0-IPC1</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声ユーザ ライセンス数が 1,152 以下のシステム向け - 1 サーバごとに最大 200 の Web 会議ユーザ ライセンスをサポート - Web 会議のユーザ ライセンス数が 50 を超える場合、Cisco MeetingPlace for Outlook や Cisco MeetingPlace SMTP/E-Mail Gateway などの Cisco MeetingPlace アプリケーションを Web 会議専用の MCS 7845 に移動 <ul style="list-style-type: none"> • Web 会議ユーザ ライセンス数が 200 増えるたびに、専用の MCS 7845 を 1 つ追加 <p>OS (オペレーティング システム)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco MCS OS 2000.2.6 (SR 4) 以降 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Information Server (IIS) 5.0 <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft IIS 5.0 は、OS がインストールされた Cisco MCS にインストールして設定 • Sun Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2_05 (リリース 5.3 に組み込まれており、他のバージョンの Sun JRE が検出されない場合は自動的にインストール) • NT File System (NTFS) (2.5 GB 以上の空き容量) • 予測されるベース レベルでの録音時間あたり 700 MB の追加ディスク容量。詳しくは、『Administrator's Guide』の第 4 章にある「Recording Size」の項を参照 • Microsoft PowerPoint 2003 (プレゼンテーション モードのスライド変換用) <p>(注) リリース 5.3 は、スライド変換の優先度が低いシステム (ラボ システムなど) 向けに独自の内部変換ツールを備えている。内部変換ツールは、Web 会議サーバ上のビデオドライブ設定にしたがって画像を表示</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてのコーポレート フォント /Microsoft の標準フォント (Microsoft PowerPoint のフォントなど) をインストール

表 1 CiscoMeetingPlace Web Conferencing のシステム要件 (続き)

コンポーネント	要件
音声サーバ	<p>ハードウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco MeetingPlace 8112 Server または Cisco MeetingPlace 8106 Server <p>ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco MeetingPlace Audio Server リリース 5.3 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポート (音声) • Cisco MeetingPlace WebPublisher オプション キー • Cisco MeetingPlace データ会議オプション キー (アプリケーション共有 / プレゼンテーションに必要) • Cisco MeetingNotes データ オプション キー (プレゼンテーション / ファイル添付に必要) • Cisco MeetingNotes 音声オプション キー (ミーティングの録音に必要) • Cisco MeetingPlace ビデオ統合オプション キー (ビデオ会議に必要)
SQL サーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SQL Server 2000 (SP 3a) (リリース 5.3 に組み込まれており、Cisco MCS で SQL Server をローカルにインストールする際、SQL Server の以前のバージョンがインストーラによって検出されない場合は自動的にインストール。以前のリリースが検出された場合は、SP 3a にアップグレード) • Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE) (SP 3a) (リリース 5.3 に組み込まれており、旧式の他社製 MCS Windows サーバで SQL Server をインストールする際、SQL Server のフルバージョンがインストーラによって検出されない場合は自動的にインストール) <ul style="list-style-type: none"> - MSDE には接続を同時に 8 つまでしかサポートしないという機能上の制約があり、リリース 5.3 の性能を阻害することがある。Cisco MeetingPlace Web Conferencing の将来のリリースでは、MSDE のサポート状況は未定。Cisco MeetingPlace システム (特に、本稼働システム) では、SQL Server フルライセンスの使用を強く推奨 <p>(注) リモート SQL Server オプションを使ってリリース 5.3 を使用する場合、リリース 5.3 をインストールする前にリモート マシンに SQL Server (SQL Server のフルバージョンまたは MSDE) をプリインストールすること</p> <p>(注) リリース 5.3 は、大文字 / 小文字を区別する SQL サーバをサポートしない</p>

表 1 CiscoMeetingPlace Web Conferencing のシステム要件 (続き)

コンポーネント	要件
ネットワーク要件	<ul style="list-style-type: none"> Web 会議サーバが Cisco MeetingPlace Audio Server システムと通信できるように、次の要件を確認する <ul style="list-style-type: none"> TCP ポート 5003 および 5005 が、Web 会議サーバとプライマリの Cisco MeetingPlace Audio Server システム間で双方向に開いている <p>(注) Cisco MeetingPlace Audio Server システムは、Web 会議サーバへのリバース接続を開始できるため、Web 会議サーバから音声サーバにポート 5003 を開く必要はない。リバース接続を開始する場合、リリース 5.3 のインストール時には IP アドレスではなく Cisco MeetingPlace Server のホスト名を入力する。また、この Web 会議サーバは音声サーバ上で手動設定する必要がある。詳しくは、『Administrator's Guide』の第 3 章にある「Installing Cisco MeetingPlace Web Conferencing」の項を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> Web 会議サーバにスタティック IP アドレスが設定されている Web 会議サーバと Cisco MeetingPlace Audio Server システム間の接続が高品質で、トラフィック輻輳による中断が発生しない (往復の遅延が 100 ミリ秒を超えるか、パケット損失が 1% を超えると、サービス品質は大幅に低下する可能性がある) <ul style="list-style-type: none"> 使用しているネットワークが 100 MBps で高い信頼性を実現できる場合、Cisco MCS のイーサネット インターフェイスを 100 MB 全二重に設定する。それ以外の場合は、インターフェイスを Auto-negotiate (自動設定) に設定
(任意) 音声の変換と再生	<p>音声変換を行う場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> サードパーティ製の音声サービスで、音声ファイルを WAV または WMA 形式に変換する必要はない。リリース 5.3 は、内蔵の音声サービス コンポーネントとエンコーダを使用して音声添付ファイルをこれらの形式に変換する 音声添付ファイルを MP3 形式に変換する場合、XingMP3 エンコーダが必要 <p>音声 / データ記録のストリーム再生を行う場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows Media Services。インストールと設定の詳細については、『Administrator's Guide』の第 3 章にある「Configuring the Windows Media Server」の項を参照

VNC を使用した Cisco CallManager のインストール

IBM Director 4.11 以降が稼働中のサーバに VNC を使って Cisco CallManager をリモートからインストールする場合、不具合が発生することがあります。不具合は、IBM MCS-7835I でリリース 5.3 を初めてインストールする場合またはアップグレードする場合に発生します。

問題を回避するには、IBM MCS-7835I で初めてリリース 5.3 をインストールしたりリリース 5.3 にアップグレードを行ったりする場合には、VNC を使用しないことを強く推奨します。

詳しくは、Bug Toolkit (「[警告](#)」 [p.14] を参照) を使用して、CSCsa39488 を確認してください。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing と Cisco Security Agent

リリース 5.3 は Cisco Security Agent と互換性がありません。リリース 5.3 がインストール済みの (またはインストールされる予定の) Web 会議サーバに、Cisco Security Agent をインストールしないでください。

エンドユーザ システムに Cisco Security Agent がインストールされている場合、アプリケーション共有機能を使用するとセキュリティ警告が表示されますが、そのまま使用を続けても問題ありません。

Segmented Meeting Access の要件

リリース 5.3 では、外部アクセス用の Segmented Meeting Access (SMA) 構成として、Segmented Meeting Access - 1 Server (SMA-1S) と Segmented Meeting Access - 2 Server (SMA-2S) の 2 つがサポートされています。詳しくは、『Administrator's Guide』の第 5 章「Providing External Access to Cisco MeetingPlace Web Conferencing」を参照してください。

次の要件は、リリース 5.3 ハードウェアおよびソフトウェアの標準システム要件 (表 1[p.3]) に対する追加要件です。

Segmented Meeting Access - 1 Server の要件

SMA-1S 構成では、次のシステム要件が追加されます。SMA-1S 構成を使用する前に、表 2 の要件を満たしていることを確認してください。

表 2 Segmented Meeting Access - 1 Server 構成の要件

コンポーネント	要件
ハードウェア	Cisco MCS × 1 (IP アドレスを 2 つ使用)
ソフトウェア	リリース 5.3 (仮想 Web サイトを設定)
DNS 設定	<ul style="list-style-type: none"> セグメント化された DNS の場合、同一のホスト名を、内部 DNS では内部 Web 会議サーバに、外部 DNS では外部 Web 会議サーバに解決する必要がある セグメント化されていない DNS に対応するように通知テンプレートを設定する方法については、該当する Cisco MeetingPlace 通知アプリケーションの管理者ガイドを参照 内部のホスト名または IP アドレスは、内部ネットワークからのアクセスのみを許可する 外部のホスト名または IP アドレスは、内部ネットワークとインターネット両方からのアクセスを許可する
ポート アクセス	<p>DMZ と内部ネットワーク間のオープン ポート :</p> <ul style="list-style-type: none"> TCP ポート 5003 および 5005 が、Web 会議サーバとプライマリの Cisco MeetingPlace Audio Server システム間で双方向に開いている <p>(注) 使用中のネットワークが「リバース接続」に対応している場合 (IP アドレスではなく Cisco MeetingPlace Server のホスト名を使用して Web 会議サーバを設定している場合)、Audio Server システムは、ポート 5003 着信がブロックされていると、DMZ の Web 会議サーバに対してリバース接続を開始できる</p> <p>インターネットから DMZ への着信オープン ポート :</p> <ul style="list-style-type: none"> ポート 80 (強く推奨) ポート 443 (SSL 用) (強く推奨) TCP ポート 1627 (ミーティング コンソールのパフォーマンスを向上) (任意) TCP ポート 1503 (NetMeeting アクセス用)

Segmented Meeting Access - 2 Server の要件

SMA-2S 構成では、次のシステム要件が追加されます。SMA-2S 構成を使用する前に、表 3 の要件を満たしていることを確認してください。

表 3 Segmented Meeting Access - 2 Server 構成の要件

コンポーネント	要件
ハードウェア	<p>単体の Cisco MCS × 2 または Cisco MCS クラスタ（負荷分散を行う場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1つのサーバまたはサーバクラスタは、企業のプライベート ネットワーク内で内部 Web 会議サーバとして使用される 1つのサーバまたはサーバクラスタは、DMZなどのネットワーク セグメントで外部 Web 会議サーバとして使用される
ソフトウェア	<p>内部 Web 会議サーバ：</p> <ul style="list-style-type: none"> リリース 5.3（Internal [Full Access] サーバ ロケーション オプションを使用） <p>外部 Web 会議サーバ：</p> <ul style="list-style-type: none"> リリース 5.3（External [Limited Access] サーバ ロケーション オプションを使用）
DNS 設定	<ul style="list-style-type: none"> セグメント化された DNS の場合、同一のホスト名を、内部 DNS では内部 Web 会議サーバに、外部 DNS では外部 Web 会議サーバに解決する必要がある セグメント化されていない DNS に対応するように通知テンプレートを設定する方法については、該当する Cisco MeetingPlace 通知アプリケーションの管理者ガイドを参照 内部のホスト名または IP アドレスは、内部ネットワークからのアクセスのみを許可する 外部のホスト名または IP アドレスは、内部ネットワークとインターネット両方からのアクセスを許可する
ポート アクセス	<p>DMZ と内部ネットワーク間のオープン ポート：</p> <ul style="list-style-type: none"> TCP ポート 5003 および 5005 が、Web 会議サーバとプライマリの Cisco MeetingPlace Audio Server システム間で双方向に開いている <p>(注) 使用しているネットワークが「リバース接続」に対応している場合（IP アドレスではなく Cisco MeetingPlace Server のホスト名を使用して Web 会議サーバを設定している場合）、Audio Server システムは、ポート 5003 着信がブロックされていると、DMZ の Web 会議サーバに対してリバース接続を開始できる</p> <p>インターネットから DMZ への着信オープン ポート：</p> <ul style="list-style-type: none"> ポート 80 （強く推奨）ポート 443（SSL 用） （強く推奨）TCP ポート 1627（ミーティング コンソール アクセス用） （任意）TCP ポート 1503（T. 120 アプリケーション アクセス用）

負荷分散機能の要件

isco MeetingPlace Web Conferencing の負荷分散機能は、アルゴリズム処理によって Web 会議サーバのクラスタ内で Web 会議要求を均等に分散します。Cisco MeetingPlace Web Conferencing で負荷分散機能を使用する場合の追加要件は次のとおりです。

負荷分散機能の詳細については、『[Administrator's Guide](#)』の第 6 章「Cisco MeetingPlace Web Conferencing and Load Balancing」を参照してください。

表 4 CiscoMeetingPlace Web Conferencing の負荷分散機能の要件

コンポーネント	要件
音声サーバ	<ul style="list-style-type: none"> 内部クラスタおよび外部クラスタ内のすべての Web 会議サーバは、同一の Cisco MeetingPlace Audio Server システムに接続している必要がある Cisco MeetingPlace アプリケーション (Cisco MeetingPlace Web Conferencing、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway、Cisco MeetingPlace Directory Services など) が稼働している最大 16 の Cisco MCS を同一の Cisco MeetingPlace Audio Server システムに接続できる
(任意) 内部 Web 会議サーバクラスタ	<ul style="list-style-type: none"> 内部クラスタ内のすべての Web 会議サーバは、1 つの SQL Server データベースを共有する必要がある 内部クラスタ内のすべての Web 会議サーバは、共有の添付ファイル保管場所にアクセスする必要がある Server Location オプションに Internal (Full Access) を使用して、各サーバ (内部 Web サーバ 1、内部 Web サーバ 2 など) に順次リリース 5.3 をインストールする 内部クラスタ内のすべての Web 会議サーバの設定 (Replication Service や Audio Service パラメータなど) を同じにする
(任意) 外部 Web 会議サーバクラスタ	<ul style="list-style-type: none"> 外部クラスタ内のすべての Web 会議サーバは、1 つの SQL Server データベースを共有する必要がある。内部クラスタと外部クラスタでは、異なるデータベースを使用する 外部クラスタ内のすべての Web 会議サーバは、共有の添付ファイル保管場所にアクセスする必要がある Server Location オプションに External (Limited Access) を使用して、各サーバ (外部 Web サーバ 1、外部 Web サーバ 2 など) に順次リリース 5.3 をインストールする 外部クラスタ内のすべての Web 会議サーバの設定 (Replication Service や Audio Service パラメータなど) を同じにする
(任意) 混在クラスタ (内部クラスタと外部クラスタが 1 つずつ)	<p>内部 Web サーバクラスタまたは外部 Web サーバクラスタと同じ要件に次の内容を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部クラスタ データベースと外部クラスタ データベースは、同じ GUIDS を使用する必要がある。詳しくは、『Administrator's Guide』の第 6 章にある「Copying GUIDS From the Internal to the External Web-Conferencing Server」の項を参照

WebConnect の要件

WebConnect を使用すると、1 つの URL を使用して、複数の内部 Web 会議サーバと外部 Web 会議サーバをシームレスに統合できます。WebConnect を使用する前に、[表 5](#) の要件を満たしていることを確認してください。

WebConnectの詳細については、『[Administrator's Guide](#)』の第7章「Cisco MeetingPlace Web Conferencing and WebConnect」を参照してください。



(注)

UNIX システムでは、WebConnect 機能はサポートされていません。

表 5 WebConnect の要件

コンポーネント	要件
音声サーバ	Cisco MeetingPlace Audio Server リリース 5.3 Cisco MeetingPlace MeetingTime リリース 5.3 (次の設定を使用) <ul style="list-style-type: none"> • User profile > Sched only on scheduling home server? > No • User profile > Sched only on NS home site? > No • System Parameters > Allow Vanity Mtg IDs? > Yes
SQL サーバ	Microsoft SQL Server 2000 (SP 3a) <ul style="list-style-type: none"> • リリース 5.3 に組み込まれており、Cisco MCS で SQL Server をローカルにインストールする際に、SQL Server の以前のバージョンがインストーラによって検出されない場合は自動的にインストール。以前のリリースが検出された場合は、SP 3a にアップグレード • SQL Server のフルバージョンを使用すると、別のサイトからミーティングを検索できる
Cisco MeetingPlace イメージ	Cisco MeetingPlace イメージ内のすべてのサイトで、Cisco MeetingPlace Audio Server リリース 5.3 を使用
Cisco MeetingPlace サイト	サイト内のすべてのシステムで、同一のシステム オプションと通知方法を使用 (MeetingNotes、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway、Microsoft Outlook など)
外部の専用サイト	VPN (T1 またはフレーム リレー)
ロールオーバー マップの設定	すべてのユーザを 1 つのグループに割り当てる必要がある すべてのグループを 1 つのロールオーバー マップに割り当てる必要がある (ロールオーバー マップにサイトが 1 しかない場合も同様)
ディレクトリ サービス	Cisco MeetingPlace Directory Services または同様のプロファイル同期手段を専用サーバ上で使用する必要がある

Cisco MeetingPlace Web Conferencing のエンドユーザ要件

次の表は、リリース 5.3 のサードパーティ環境との互換性を示します。ここに記された Service Pack (SP) は、最低限必要なものです。ここに記されたものよりも機能の高い SP は、特に明記されていない限り、正常に動作すると考えられます。

表 6 Cisco MeetingPlace Web Conferencing のエンドユーザ要件

OS (オペレーティングシステム)	要件
Windows	<p>Cisco MeetingPlace の Web 会議に参加する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • ミーティング コンソール (リリース 5.3 に組み込まれている) または T.120 互換アプリケーション • (任意) WAV、WMA、または MP3 ファイルを再生するオーディオプレーヤー • 音声会議および Web 会議に参加するための個別のインターネット アクセスおよび電話アクセス • Windows ME、2000 Professional、2000 Server Edition (SP 2)、2000 Advanced Server Edition (SP 2)、XP、または 2003 の各 OS • 上記の OS 上で動作する次の Java 対応 Web ブラウザのいずれか 1 つ (セキュリティレベルを「中」または「低」に設定) <ul style="list-style-type: none"> – Microsoft Internet Explorer 5.5 (Microsoft Java Virtual Machine [JVM] 3309 以降、または Sun Java Runtime Environment [JRE] 1.4.2 以降を使用) – Microsoft Internet Explorer 6.0 (Microsoft JVM 3802 以降、または Sun JRE 1.4.2 以降を使用) – Netscape Navigator 7.0、7.1 (Sun JRE 1.4.2 以降を使用)。Netscape Navigator は、ミーティング コンソールを完全にはサポートしておらず、ユーザはミーティング コンソールのベーシックバージョンを使用して、プレゼンテーション、表示、コメント付加、ホワイトボード、共同作業、アプリケーション共有オプションのイネーブル、およびチャットを利用できる <p>ビデオ会議を使用する場合の追加要件</p> <p>使用中のエンドユーザ システムをビデオ会議用に設定するには、『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Video Integration Release 5.3』を参照する</p> <p>ミーティング コンソールを使用してアプリケーション共有を行う場合の追加要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • システム要件： <ul style="list-style-type: none"> – 200 MHz Pentium II プロセッサ – 128 MB RAM – Netscape Navigator 7.0 を使用して負荷の高いプレゼンテーションを行う場合は 256 MB RAM の使用を推奨 • (任意、ただし強く推奨) TCP ポート 1627 をファイアウォール上でクライアントからサーバ方向に開く (直接着信アクセス用) <ul style="list-style-type: none"> – このポートが閉じていると、ミーティング コンソールはポート 80 経由のトンネリングを使用してやや遅い接続を確立する <p>T.120 互換アプリケーションを使用してアプリケーション共有を行う場合の追加要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • NetMeeting (リリース 3.01) または他の T.120 互換アプリケーションをインストール • ホストと Web 会議サーバ間のすべてのファイアウォールで TCP ポート 1503 を開く • スクリーン セーバーを無効にする <p>Netscape Navigator を使用する場合は、Web ブラウザで適切な NetMeeting MIME タイプを設定する必要がある。詳しくは、『Administrator's Guide』の第 8 章にある「About NetMeeting 3.01」の項を参照</p>

表 6 Cisco MeetingPlace Web Conferencing のエンドユーザ要件 (続き)

OS (オペレーティングシステム)	要件
Macintosh	<p>Cisco MeetingPlace の Web 会議に参加する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • ミーティング コンソールのベーシックバージョン (リリース 5.3 に組み込まれている) <ul style="list-style-type: none"> - Macintosh システムでは、スケジュール機能以外の完全なミーティング コンソール、ポーリング、およびビデオ会議の機能はサポートされない。ミーティング コンソールのベーシックバージョンを使用すると、プレゼンテーション、表示、コメント付加、ホワイトボード、共同作業、およびチャットの機能を利用できる • (任意) WAV、WMA、または MP3 ファイルを再生するオーディオプレーヤー • 音声会議および Web 会議に参加するための個別のインターネット アクセスおよび電話アクセス • Mac OS 9、9.1、9.2、X (10.x) • Netscape Navigator 7.0 (JRE 1.4.2 以降)、または Safari 1.2 (Sun JRE 1.4.2 以降) <p>Cisco MeetingPlace の Web 会議でアプリケーション共有機能を使用する場合の追加要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mac OS X (10.3) • Safari 1.2 (Sun JRE 1.4.2 以降) <p>(注) Macintosh クラアントでアプリケーション共有機能を使用できる OS とブラウザは上記の組み合わせのみ</p>
UNIX	<p>Cisco MeetingPlace の Web 会議に参加する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • ミーティング コンソールのベーシックバージョン (リリース 5.3 に組み込まれている) または T.120 互換アプリケーション <ul style="list-style-type: none"> - UNIX システムでは、完全なミーティング コンソール、ポーリング、およびビデオ会議の機能はサポートされない。ミーティング コンソールのベーシックバージョンを使用すると、プレゼンテーション、表示、コメント付加、ホワイトボード、共同作業、およびチャットの機能を利用できる • (任意) WAV、WMA、または MP3 ファイルを再生するオーディオプレーヤー • 音声会議および Web 会議に参加するための個別のインターネット アクセスおよび電話アクセス • Solaris 7 以降 • Netscape Navigator 7.0 (JRE 1.4.2 以降)、または SunForum 3.1 以降 <p>Cisco MeetingPlace の Web 会議でアプリケーション共有機能を使用する場合の追加要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • SunForum 3.2 • ホストと Web 会議サーバ間のすべてのファイアウォールで TCP ポート 1503 を開く • スクリーン セーバーを無効にする <p>(注) UNIX システムのユーザはミーティング コンソールを使用してミーティングを開催することはできない</p>

Cisco MeetingPlace 製品の互換性

Cisco MeetingPlace 製品の互換性については、次の手順に従って『Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace リリース 5.3』を参照してください。

- ステップ 1** Web ブラウザを開いて、次の URL にアクセスします。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/audio/index.htm>
- ステップ 2** Cisco MeetingPlace Audio Server のページで、**Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3** をクリックします。
- ステップ 3** Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3 のページで、**Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace 5.3** をクリックします。
- ステップ 4** Installation Planning Guide for Cisco MeetingPlace Release 5.3 のページで、**Introducing Cisco MeetingPlace > Cisco MeetingPlace Product Compatibility Matrix** をクリックします。

リリース 5.3 へのアップグレード

旧型のシステムをリリース 5.3 にアップグレードする場合の要件は次のとおりです。

- 該当するネットワーク構成に必要な Cisco MCS と同等のシステム仕様を持つ旧型のサードパーティ製 Windows サーバ。MCS の仕様については、次の URL を確認してください。
<http://www.cisco.com/jp/product/hs/iptel/mcs/>
- Windows 2000 Server (SP 4) または Windows Server 2003 (Enterprise Edition)
- Microsoft Internet Information Server (IIS) 5.0 または 6.0
 - Microsoft IIS 6.0 は Windows Server 2003 にインストール
- SQL Server 2000 (SP 3a) または SQL Server (MSDE) (SP 3a)
 - リリース 5.3 では、SQL Server Processor License オプションが必要。詳しくは、Microsoft 社の Web サイトを参照
 - リリース 5.3 システム (特に、本稼働システム) では、SQL Server 2000 のフルライセンスバージョンの使用を強く推奨。MSDE から SQL Server のフルバージョンにアップグレードする場合、SQL Server のフルバージョンをインストールしてから Cisco MeetingPlace Web Conferencing をリリース 5.3 にアップグレードする



注意

使用中の Click-to-Attend リンク、添付ファイル、およびミーティング記録を保持する場合、SQL Server のデータベースは削除しないでください。データベースを削除したり再構築したりすると、これらの情報もすべて削除されます。

使用中の Web 会議サーバのリリース 5.3 へのアップグレードに関する詳細については、『Administrator's Guide』の付録 A 「Upgrading or Uninstalling Cisco MeetingPlace Web Conferencing」を参照してください。

新機能および変更された機能

リリース 5.3 で追加された新機能および強化された機能は次のとおりです。

機能	説明
シスコブランドへの変更	グラフィック ユーザ インターフェイスや付属のマニュアル類をすべて Cisco MeetingPlace のブランドとカラーに一新
DoS への対処	3 つの新しい管理者設定により、過負荷状態のサーバは使用中のユーザと正規の着信ユーザに継続してサービスを提供

機能	説明
インストール機能の強化	インストーラは必要なソフトウェアすべてを含むパッケージに組み込まれており、ユーザはパッケージのダウンロードとインストールを独自に行うことが可能。インストール機能には、SQL Server のインストールも含まれる
スライド キャッシュ機能の強化	強化されたスライド キャッシュ機能をレクチャ形式のミーティングで使用すると、表示中のスライドに続くスライドが3 つダウンロードできるため、ネットワークの負荷が軽減され、ゲスト ユーザがプレゼンテーションを制御するのを防ぐことができる
SSL 管理の強化	Secure Socket Layer (SSL) を使用してシステムを設定できるようになった
アップグレード機能の強化	カスタマイズ機能がメインの製品と分離されているため、Web 会議ソフトウェアをアップグレードしても使用中のカスタマイズを維持できる
Segmented Meeting Access 構成の強化	「Display Meeting to Everyone」の設定が、「Allow Internet Access」と「Publicly Listed Meeting」の2 つのオプションに分かれ、Segmented Meeting Access 構成の利用が簡易化
アプリケーション共有機能の強化	アプリケーション共有機能のパフォーマンスを改善するために、ホストのミーティング コンソールでのホスト アプリケーションの自動表示機能を削除。また、他のユーザが画面の更新を受信するまでの遅延時間を把握できるように、ホストに視聴者遅延フィードバックを提供
Macintosh でのアプリケーション共有	アプリケーション共有機能を Macintosh クライアントでも利用できるように拡張。Macintosh クライアントのユーザは、Web 会議中にデスクトップ、デスクトップの一部、または選択したアプリケーションを共有できる
プレゼンテーション スライドの 1024 × 768 表示への最適化	プレゼンテーション スライド表示の解像度を 1024 × 768 に最適化。解像度 800 × 600 のユーザが多数の場合は、システム オプションを使用して設定を変更できる
Sun JRE のサポート	Sun Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2 以降をサポート
Cisco MeetingPlace Video Integration のサポート	ユーザは Web を使用してビデオ リソースをスケジュールリングし、ビデオ エンドポイントを通じて Cisco MeetingPlace のミーティングに参加できる
ミーティング コンソールの更新	ミーティング コンソール機能の強化により、ダウンロード時間の短縮、表示スペースの大きな無駄のないユーザ インターフェイス、ビデオ会議機能 (Cisco MeetingPlace Video Integration が必要) を実現
パブリック ミーティング設定機能の向上	管理者とユーザが Find Meetings リストでパブリック ミーティングを参照可能にする設定をやすくする機能を追加

機能	説明
Reference Center の更新	Cisco MeetingPlace Video Integration のエンド ユーザ情報を扱えるように、Cisco MeetingPlace Reference Center を更新
シングル サインオンの設定機能	Windows Integrated Authentication を使用してシングル サインオンを設定できるため、ユーザは1度のログインで Windows ドメインとリリース 5.3 の両方に認証アクセスできる

警告


未解決および解決済みの警告は、リリース ノートには記載されていません。警告に関する最新情報は、新しいオンライン ツールである Bug Toolkit から入手できます。Bug Toolkit を使用すると、お客様は必要に応じて警告を検索できます。

リリースに追加された新機能や拡張機能を確認したり、以前のリリースから修正された警告を調べたりするため、新しい Cisco MeetingPlace リリースが配布されたときは、照会を行ってください。

Bug Toolkit にアクセスするには、次のものがが必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ
- Cisco.com のユーザ名とパスワード

Bug Toolkit を使用する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** Web ブラウザを開いて、次の URL にアクセスします。
http://www.cisco.com/pcgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl
- ステップ 2** **Launch Bug Toolkit** ハイパーリンクをクリックします。
- ステップ 3** 特定の警告に関する詳細を検索するには、「Enter known bug ID:」フィールドに ID 番号を入力します。Cisco MeetingPlace の警告をすべて表示するには、「Search for bugs in other Cisco software and hardware products」に移動して、Product Name フィールドに meetingplace と入力します。
-
-  (注) Cisco MeetingPlace は、最初の 3 文字 mee を入力すると表示されます。
-
- ステップ 4** **Next** をクリックします。Cisco MeetingPlace 検索ページが表示されます。
- ステップ 5** 警告を問い合わせるフィルタを選択します。使用可能なオプションの一部またはすべてを選択できます。
- ステップ 6** **Next** をクリックします。Bug Toolkit は、問い合わせに基づいて警告のリストを返します。
-

関連資料

Cisco MeetingPlace の一般的な資料については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/index.htm>

Cisco MeetingPlace 製品の関連資料は、『Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3』内の「Related Documentation」を参照してください。この資料は、次の手順で入手できます。

-
- ステップ 1** Web ブラウザを開いて、次の URL にアクセスします。
<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/web/index.htm>
- ステップ 2** Cisco MeetingPlace Web Conferencing のページで、**Cisco MeetingPlace Web Conferencing (Release 5.3)** をクリックします。
- ステップ 3** Cisco MeetingPlace Web Conferencing (Release 5.3) のページで、**Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3** をクリックします。
- ステップ 4** Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3 のページで、**Introducing Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3 > Additional References** をクリックします。



- (注)** 最新の更新情報については、必ず『Cisco MeetingPlace Web Conferencing リリース 5.3 リリースノート』を参照してください。
-

この資料は、「関連資料」に記載されている資料と併せてご利用ください。

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語を使用している場合、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0406R)

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.